

幼少期からの長期ステロイド使用後に皮膚症状の軽減を続けた成人アトピーの経過 (50 歳 男性)

症例 ID：001-50-NN | 記録日：2016 年 8 月 16 日

1. 診断・治療前経過

幼稚園年長頃に手首のかゆみでフルコートの使用を開始し、学童期から成人期まで長期にステロイド外用を続けました。社会人期には強い外用薬を大量に使用し、28 歳頃にはステロイド注射も受けました。

37 歳頃に下痢、喘息、体重減少に続いて顔面から全身へ強い皮膚症状が広がり、松本医院を受診しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼稚園期から長期にステロイド外用薬を使用し、28 歳頃にはステロイド注射を受けました。
製品名	フルコートほか。詳細は不明です。
強度	強い外用薬を含みます。
使用期間	幼稚園期から成人期まで長期に使用しました。
中止時期	29 歳頃以降は外用・内服・注射を中止しました。
来院前／後	来院前に長期・大量使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼稚園年長～学童期	使用開始	手首のかゆみにフルコートを使用し、継続しました。
23～27 歳頃	大量使用	強い外用薬を繰り返し使用しました。
28 歳頃	注射治療	ステロイド注射を多数回受けました。
29～36 歳頃	一時安定	皮膚症状は目立たなくなりましたが、体重増加や感染症を経験しました。
37 歳頃	強い再燃	下痢、喘息、体重減少後に顔面から全身へ浸出性症状が広がりました。
松本医院受診後	治療開始	煎じ薬と漢方入浴を開始し、IgE はピーク時約 9000 でした。
治療経過中	合併症	白内障が進行し、両眼の手術を受けました。
2016 年 8 月	記録時点	以前の強い症状と比べて落ち着き、毎日の入浴でかゆみを調整していました。

4. ピーク時期

ピークは、37 歳頃に顔面から全身へ黄色い浸出液、強いかゆみと痛みが広がり、IgE が約 9000 となった時期です。

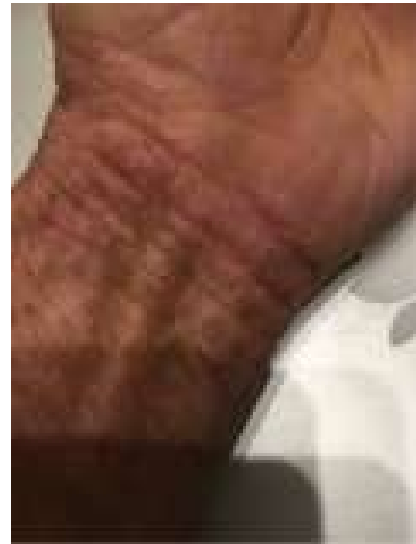
5. 困りごと

- ・幼少期から数十年にわたり外用処置を続けました。
- ・全身の浸出症状、体重減少、喘息、白内障など複数の症状が重なりました。
- ・強い症状の時期も仕事を休まず続ける必要がありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



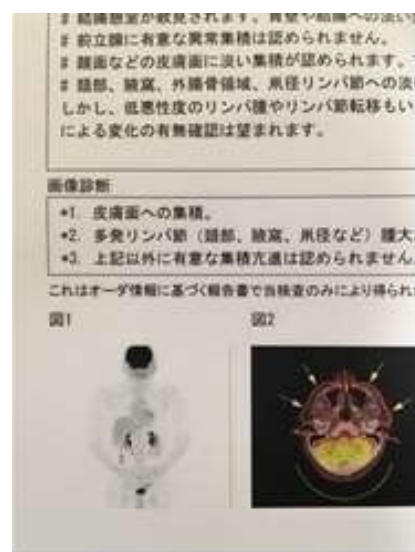
経過中の手背の皮膚状態。



経過中の手掌・手首の皮膚状態。



経過中に採取した皮膚片。



PET 検査結果の画像記録。

7. 経過のまとめ

長期にわたるステロイド使用後、37 歳頃に強い全身症状を経験しました。

記録時点では最も強かった時期と比べて症状は落ち着き、毎日の入浴を続けながら皮膚状態を管理していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。